



早春 対談

塩崎厚生労働大臣に聞く

日 身 連

発行所
社会福祉法人
日本身体障害者団体連合会
(中央障害者社会参加推進センター)
 発行人 阿部 一彦 かずひこ
 東京都豊島区目白3丁目4の3
 デアダンクビル4階
 TEL03-3565-3399(代)
 FAX03-3565-3349
<http://www.nissinren.or.jp>
**Japanese Federation of
 Organizations of the
 Disabled Persons (JFOD)**
 年間購読料 正会員1部 300円
 非会員1部 1000円

1月13日(金)、日身連の阿部一彦会長が、厚生労働省10階の厚生労働大臣室に塩崎恭久厚生労働大臣をお尋ねしました。第3次安倍内閣第2次改造で、引き続き、厚生労働大臣の任に就かれた塩崎大臣に新年のごあいさつをするとともに、障害者施策の動きや日身連への期待などについて、和やかな早春対談が行われました。

阿部：おめでとうございます。年の初めのお忙しいところ、お時間をいただきました。誠にありがとうございます。

塩崎：おめでとうございます。今日はお寒い中を、ようこそおいでくださいました。



塩崎 恭久
厚生労働大臣



阿部 一彦
(社福)日本身体障害者団体連合会 会長

阿部：私どもの毎年の全国大会に心温まるご祝辞をいただき、本当にありがとうございます。また昨年の秋には、松井前会長を偲ぶ会にご懇切なご弔電をいただき、心からお礼申し上げます。

塩崎：改めて、松井前会長のご冥福を心よりお祈りいたします。

昨年1月の対談直後のことでしたので、大変驚きました。松井会長のご遺志は、阿部会長をはじめ、会の皆さまが引き継いでいけることと思いますが、我々も引き続き支援を惜しまない所存です。

一人ひとりの人生を豊かに

阿部：一億総活躍を掲げる第3次安倍内閣第2次改造で、引き続き、厚生労働大臣にご就任されたご感想と併せて、今年のご抱負をおきかせいただけますでしょうか。

塩崎：身の引き締まる思いです。厚生労働省は、社会保障、雇用など、国民の皆様の暮らしそのもの、生活そのものに関わる政策が幅広く詰まった省庁です。50年後も人口1億人を維持し、その一人ひとりの人生を豊かにしていくことをめざして、男性も女性も、高齢者も若者も、障害者や難病のある方も、あらゆる方がそれぞれ活躍できる包摂的な社会の実現に取り組んでいくこと、まずはこれが私の使命と考えています。

この1月で在任約2年4ヶ月になりますが、引き続き、私自身が先頭に立って、様々な課題